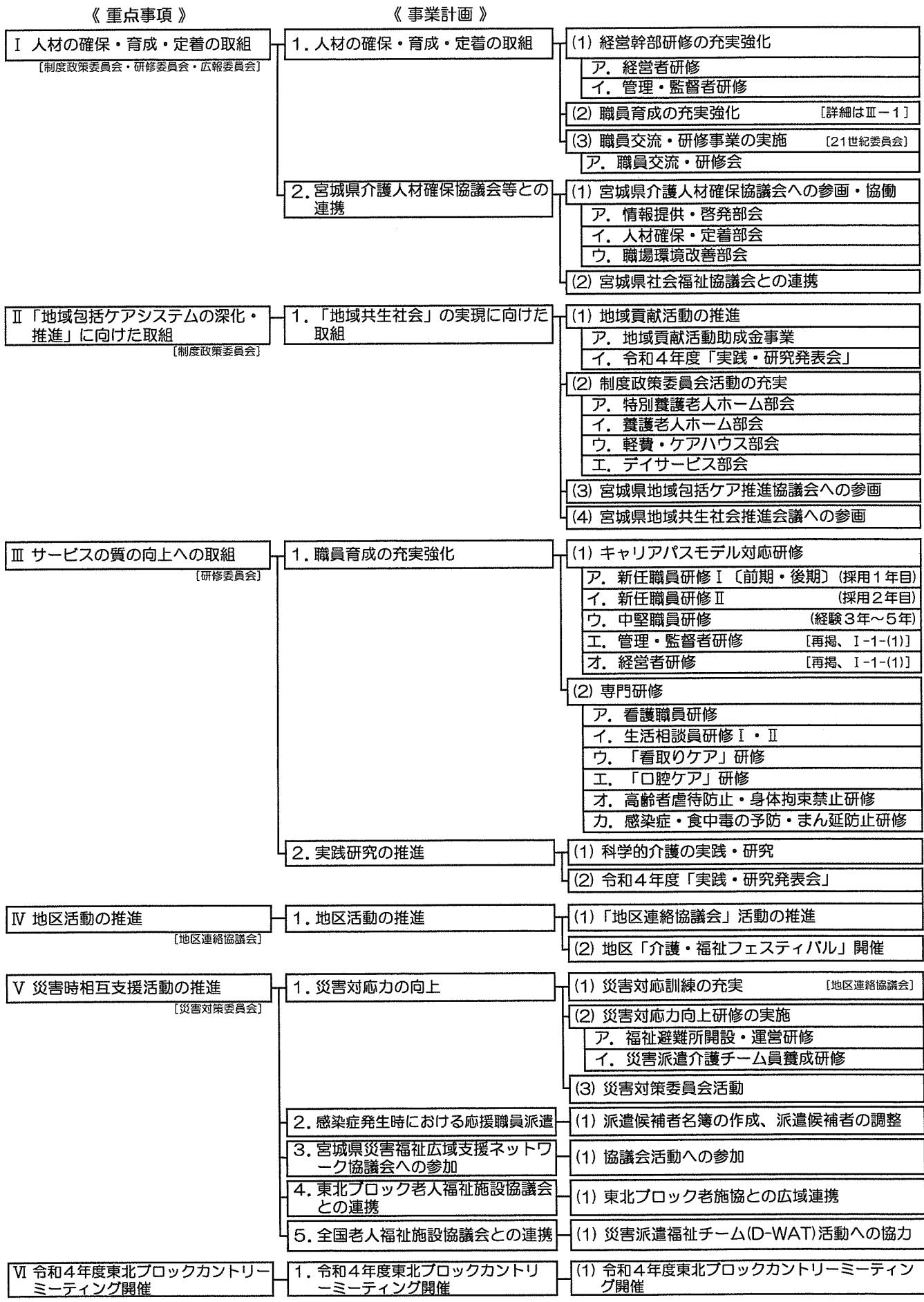


令和4年度事業計画

宮城県老人福祉施設協議会

令和4年度宮城県老人福祉施設協議会事業計画 骨子



令和4年度宮城県老人福祉施設協議会事業計画

国は、「地域共生社会」の実現に向けて当面の改革工程（平成29年2月7日 厚生労働省「我が事・丸ごと」地域共生社会実現本部決定）を示し、様々な施策を進めています。

その一つが、地域共生社会の実現のための社会福祉法等の一部を改正する法律（令和2年法律第52号）の施行であり、この中で、地域の多様化した福祉ニーズに応えながら生産年齢人口の減少に伴う人手不足に対応し経営基盤を強化していくための方策として「社会福祉連携推進法人制度」が創設されました。

私たち社会福祉法人はこれらのことと真剣に捉え、経営戦略・中長期経営計画に基づく経営、責務である「地域における公益的な取組」の実践などを進めていく必要があります。

また、施設現場には、ICT・介護ロボット等を活用した生産性向上が求められ、社会保障審議会介護給付費分科会で職員配置基準の緩和の議論が始まるなど、施設における介護サービスの質の向上と介護職員の負担軽減の両立への取組みが求められています。

一方、「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」（令和3年11月19日閣議決定）として、令和4年2月から介護職員の収入を3%程度引き上げるための措置が実施され、また、令和4年度予算編成過程において、令和4年10月以降に臨時の報酬改定を行い、収入を3%程度引き上げるための措置を講じることが決定されました。

この過程において、全国老施協が会員施設の先頭に立って要望活動を行った結果、事業所内における配分方法の柔軟な運用が認められることになり、また、厚生労働省老健局高齢者支援課から各自治体あてに令和4年2月10日付け事務連絡「老人保護措置費に係る支弁額等の改定の考え方及び改定の例について」が通知され、養護老人ホーム、軽費老人ホーム・ケアハウスの職員の処遇改善に係る基本的な考え方等が示されました。

新型コロナ感染症への対応も含め、施設の諸課題を政策に反映できるよう、今後も全国老施協との連携を深めてまいります。

今年度は、このように厳しさを増している社会福祉法人・高齢者福祉施設経営の問題・課題に対応するため、下記の5項目を重点事業に掲げ、会員皆様と情報を共有し、連携・協同して積極的な事業展開を図ってまいります。

《重点事業》

1. 人材の確保・育成・定着の取組
2. 「地域包括ケアシステムの深化・推進」に向けた取組
3. サービスの質の向上への取組
4. 地区活動の推進
5. 災害時相互支援活動の推進

【重点事業への取組】

I 人材の確保・育成・定着の取組

1. 人材の確保・育成・定着の取組

- | | | |
|--|---|---------------------------------|
| (1) 経営幹部研修の充実強化（詳細は、Ⅲ-1）
ア. 経営者研修 [定員：80名]
○対象者 施設長・法人事務局長
イ. 管理・監督者研修 [定員：30名]
○対象者 主任・リーダー・事務長・課長等 | (2) 職員研修の充実強化（詳細は、Ⅲ-1）
ア. キャリアパスモデル対応研修
イ. 専門研修 | (3) 職員交流・研修事業の実施
ア. 職員交流・研修会 |
|--|---|---------------------------------|

2. 宮城県介護人材確保協議会等との連携

(1) 宮城県介護人材確保協議会への参画・協働

ア. 情報提供・啓発部会

①介護の職場体験事業

- ・週休日を利用した職場体験の実施や親子体験等について検討
- ・受入事業所の拡大に向けた働きかけの強化

②介護職員合同入職式

- ・令和4年7月頃を予定

③介護関連イベント開催支援

- ・各地域における地域密着型「介護関連イベント」の開催支援（補助）

イ. 人材確保・定着部会

①キャリアパス支援事業

②小規模事業所向け出前研修

ウ. 職場環境改善部会

①みやぎ介護人材を育む取組宣言認証制度の運用

(2) 宮城県社会福祉協議会との連携

Ⅱ 「地域包括ケアシステムの深化・推進」に向けた取組

1. 「地域共生社会」の実現に向けた取組

地域共生社会の実現に向けた施策の動向等について理解を深めるとともに、「地域における公益的な活動」の実践等を通じて、地域の様々な生活課題や福祉ニーズに対応できるよう努める。

(1) 地域貢献活動の推進

ア. 地域貢献活動助成金事業

- ・手上げ方式で事業実施施設を募集する。（各地区から1施設の応募を想定。）
- ・事業実施施設には、予算の範囲内で活動助成金を交付する。

イ. 令和4年度「実践研究発表会」の開催

- ・令和4年度「実践研究発表会」で活動内容を発表する。

(2) 制度政策委員会部会活動の充実

老人福祉施設が、地域包括ケアの時代において、地域密着型の福祉ベースキャンプとしての機能を発揮するための方策等について研究・検討する。

ア. 特別養護老人ホーム部会

(ア) 課題検討研修会の実施

イ. 養護老人ホーム部会

(ア) 東北ブロック老施協養護老人ホーム職員研修会への参加

(イ) 東北ブロック老施協養護老人ホーム部会への参加

ウ. 軽費・ケアハウス部会

(ア) 東北ブロック老施協軽費・ケアハウス部会への参加

エ. デイサービス部会

(ア) 職員研修会の実施

(イ) 東北ブロック老施協デイサービス部会への参加

(3) 宮城県地域包括ケア推進協議会への参画

(4) 宮城県地域共生社会推進会議への参画

Ⅲ サービスの質の向上への取組

1. 職員研修の充実強化

高齢者福祉施設「キャリアパス」モデルを策定し、会員施設におけるOJT、OFF-JT、自己啓発支援等の取組みとともに、計画的・継続的に人材を育成する。

宮城県老人福祉施設協議会

高齢者福祉施設「キャリアパス」モデル、教育・研修体系

1. 策定の目的

質の高い福祉サービスの提供、社会福祉法人の経営機能の強化を図るため、「介護職」と「総務・企画・経営職」の『キャリアパス』モデルを策定し、会員施設とともに計画的・継続的に人材育成を進める。

2. 策定のねらい

- (1) 場当たり的な人材育成から脱却し、計画的に人材を育成する。
- (2) 高度の専門性を持った介護リーダーを育成し、介護現場における教育(OJT)の強化を図る。
- (3) 尊厳を支えるケアの実現のために、求められる介護職員像を明確にして、キャリアパスの段階に応じた能力を身につける機会を提供する。
- (4) 体系的な知識・技術を習得できる継続教育のシステムをつくることにより、介護職員の専門知識・技術を向上させ介護の平準化、標準化を図り介護の質を向上させるとともに、介護の仕事の魅力を高める。
- (5) 法人経営の中核を担う人材を育成し、法人本部(事務局)の経営機能の強化を図る。

《求められる介護福祉士像》

1. 尊厳と自立を支えるケアを実践する
2. 専門職として自律的に介護過程の展開ができる
3. 身体的な支援だけでなく、心理的・社会的支援も展開できる
4. 介護ニーズの複雑化・多様化・高度化に対応し、本人や家族等のエンパワメントを重視した支援ができる
5. QOL(生活の質)の維持・向上の視点を持って、介護予防からリハビリテーション、看取りまで、対象者の状態の変化に対応できる
6. 地域の中で、施設・在宅にかかわらず、本人が望む生活を支えることができる
7. 関連領域の基本的なことを理解し、他職種協働によるチームケアを実践する
8. 本人や家族、チームに対するコミュニケーションや、的確な記録・記述ができる
9. 制度を理解しつつ、地域や社会のニーズに対応できる
10. 介護職の中で中核的な役割を担う

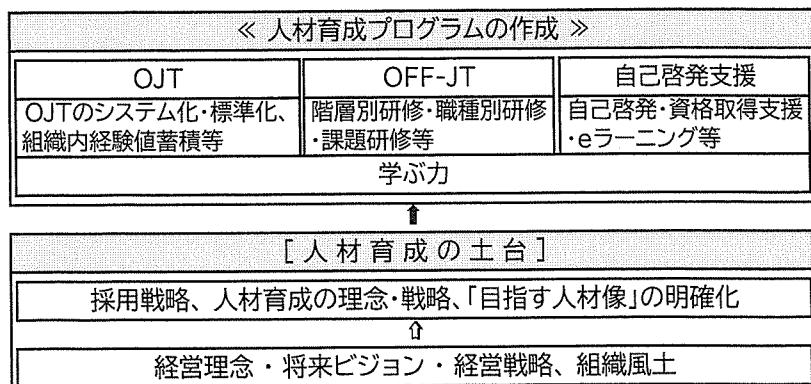
+

高い倫理性の保持

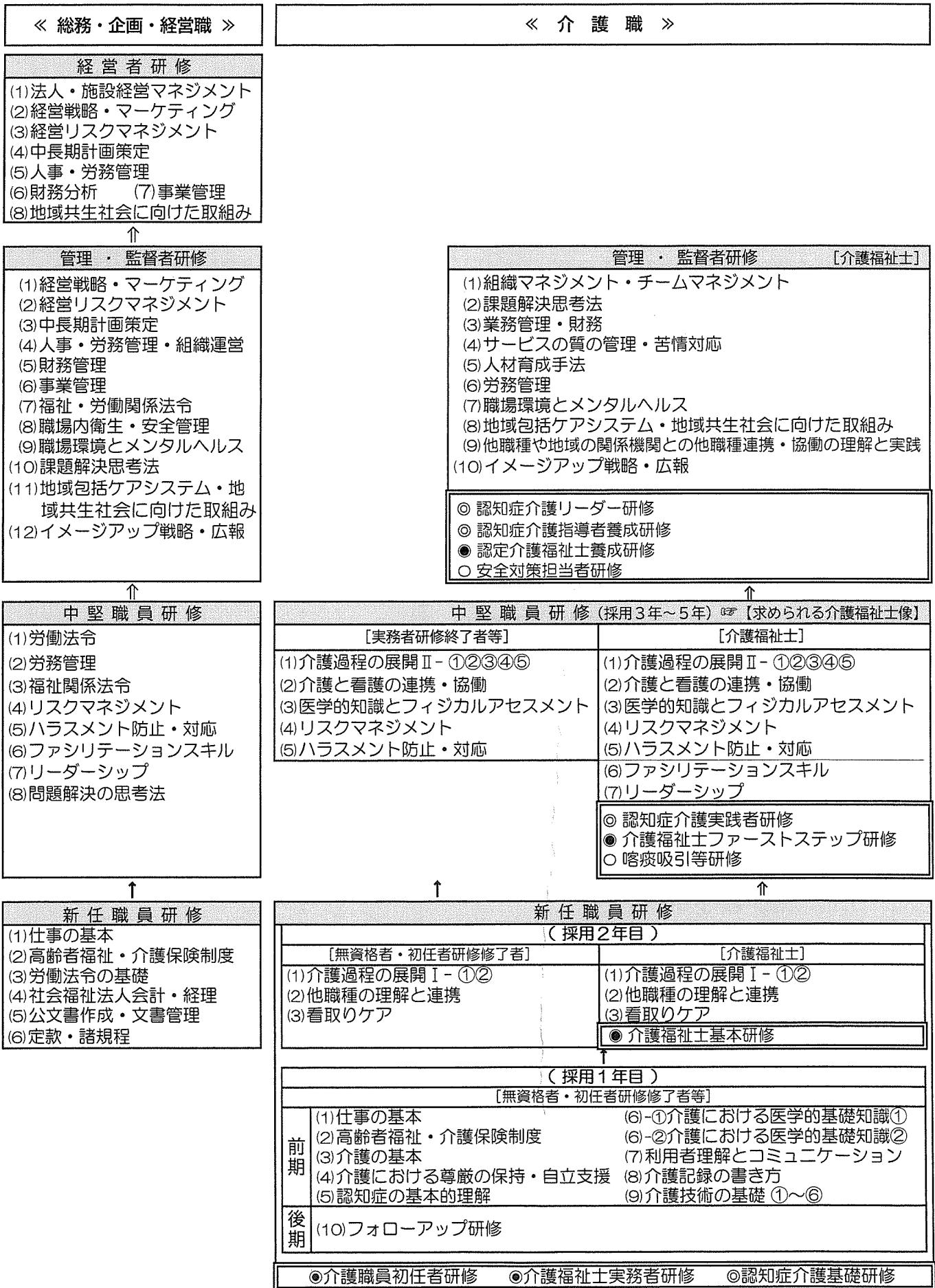
(平成29年9月26日 第11回社会保障審議会福祉部会 福祉人材確保専門委員会)

高齢者福祉施設職員「キャリアパス」モデル

職位	職責	対応役職	求められる能力
経営職	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 施設の統括責任者として経営責任を負う ◎ 理念と計画を持って、組織を統括し、法人全体の成長を図る ◎ 人材育成 ◎ 法令順守の徹底 ◎ 地域との協力・連携 	法人事務局長 施設長	<ul style="list-style-type: none"> ○ 経営戦略策定・推進（中長期ビジョン策定、経営分析、人事戦略） ○ 施設の経営管理・統率力 ○ 人事・労務管理能力（採用・育成・人事評価・労働時間・安全衛生） ○ 危機管理能力 ○ 財務管理能力 ○ コンプライアンス ○ 理事長をサポートできる経営管理能力 ○ 行政・関係機関・団体と協力・連携し地域福祉の推進・向上に貢献
管理職	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 部門の業務執行責任を負う ◎ 組織管理 ◎ 財務管理 ◎ 組織の目標設定と課題解決 ◎ 部下の指導・育成 ◎ 地域の社会資源との連携・調整 	事務長 課長(係長)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 部門統率力 ○ 部門業務進行管理能力 <ul style="list-style-type: none"> ・部門の多職種をマネジメントして、チームアプローチを進める能力 ・課題等のチーム解決能力を高める能力 ○ 人事・労務管理能力（採用・育成・人事評価・労働時間・安全衛生） ○ 業務上の問題・課題発見能力と解決能力 ○ 苦情処理、リスク管理 ○ 業務の企画力 ○ 事務局長、施設長への橋渡し能力（提言能力）
監督職	<ul style="list-style-type: none"> ◎ チームやユニットの管理・運営 ◎ サービス管理 ◎ 部下の指導・育成 ◎ 地域の社会資源との連携・調整 	主任 リーダー	<ul style="list-style-type: none"> ○ チームマネジメント力 ○ リスクマネジメント力 ○ 業務の企画力 ○ 業務進行管理能力 ○ 指導力・育成力（自己啓発支援、キャリア形成支援、コーチング） ○ 実務における高度な知識・実践力 ○ 地域と関わる力
一般職 中堅	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 創意工夫を凝らし、自主的な判断、改善、提案を行いながら業務を遂行する ◎ 後輩を指導する 	一般職 (事務職員) (介護職員)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 通常の業務に精通し、日常の定型的な業務を独立して行える能力 ○ チームアプローチの理解と共働能力 ○ 後輩へ業務アドバイスができる能力 ○ 記録を整理し、上司に報告・相談ができる ○ 説明能力 ○ 家族との信頼関係構築・調整能力
新任	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 担当する基本的な業務を確実に遂行する 		<ul style="list-style-type: none"> ○ 社会人・組織人として自己を確立する ○ 関係法令・制度の理解 ○ 法人理念の理解 ○ 業務の基本的知識・技術 ○ コミュニケーション技術



教育・研修体系



(1) キャリアパスモデル対応研修

[介護職]	[総務・企画・経営職]
<u>ア. 新任職員研修Ⅰ（採用1年目）</u>	<u>ア. 新任職員研修</u>
<u>(ア) 前期研修</u> [定員30名]	
○1日目 [4月5日(火)] <Web研修> (1) 仕事の基本 (2) 高齢者福祉・介護保険制度 (3) 介護の基本 (4) 介護における尊厳の保持・自立支援	○1日目 [4月5日(火)] <Web研修> (1) 仕事の基本 (2) 高齢者福祉・介護保険制度 (3) 介護の基本 (4) 介護における尊厳の保持・自立支援
○2日目 [4月6日(水)] <Web研修> (5) 認知症の基本的理 (6)-① 介護における医学的基礎知識① 「こころとからだのしくみ、疾病の理解」	○2日目 [日程調整中] <集合研修> (5) 社会福祉法人の会計・経理
○3日目 [4月7日(木)] <Web研修> (6)-② 介護における医学的基礎知識② 「薬の知識、感染症の基礎的理 (7) 利用者理解とコミュニケーション (8) 介護記録の書き方	
○4日目 [4月28日(木)] <Web研修> (9)-① 介護技術の基礎①「観察と記録」 (9)-② 介護技術の基礎②「緊急時・事故対応」	
○5日目 [5月12日(木)] <集合研修> (9)-③ 介護技術の基礎③「移動、移乗」 (9)-④ 介護技術の基礎④「食事支援・口腔ケア」	
○6日目 [5月26日(木)] <集合研修> (9)-⑤ 介護技術の基礎⑤「排泄ケア」 (9)-⑥ 介護技術の基礎⑥「入浴・清潔保持」	
<u>(イ) 後期研修</u> [定員30名] [日程調整中] <集合研修> (10) フォローアップ研修 「研修の振り返り、グループ討議、交流」	
<u>イ. 新任職員研修Ⅱ（採用2年目）</u> [定員30名]	
○1日目 [5月10日(火)] <Web研修> (1)-① 介護過程の展開Ⅰ① 「介護過程の意義と目的」	
○2日目 [5月24日(火)] <Web研修> (1)-② 介護過程の展開Ⅰ② 「介護過程の理解」	
○3日目 [6月7日(火)] <Web研修> (2) 他職種の理解と連携	
○4日目 [6月21日(火)] <Web研修> (3) 看取りケア	

[介護職]

[総務・企画・経営職]

ウ. 中堅職員研修（経験年数3年～5年）

[定員30名]

○1日目 [6月 2日 (木)]	《Web研修》
(1)-① 介護過程の展開Ⅱ① 「介護過程とチームアプローチ」	
○2日目 [6月16日 (木)]	《Web研修》
(1)-② 介護過程の展開Ⅱ② 「利用者の特性に応じた介護過程の実践的展開」	
○3日目 [6月30日 (木)]	《Web研修》
(1)-③ 介護過程の展開Ⅱ③ 「利用者の生活と介護過程の展開」	
○4日目 [7月14日 (木)]	《Web研修》
(1)-④ 介護過程の展開Ⅱ④ 「ICFに基づいた介護過程と自立支援」	
○5日目 [8月25日 (木)]	《Web研修》
(1)-⑤ 介護過程の展開Ⅱ⑤ 「カンファレンス方式の事例検討」	
○6日目 [9月 8日 (木)]	《Web研修》
(2) 介護と看護の連携・協働	
(3) 医学的知識とフィジカルアセスメント	
○7日目 [9月29日 (木)]	《Web研修》
(4) リスクマネジメント	
(5) ハラスマント防止・対応	
○8日目 [10月13日 (木)]	《Web研修》 *介護福祉士
(6) ファシリテーションスキル	
(7) リーダーシップ	

ウ. 中堅職員研修

○1日目 [9月29日 (木)]	《Web研修》
(1) リスクマネジメント	
(2) ハラスマント防止・対応	
○2日目 [10月13日 (木)]	《Web研修》
(3) ファシリテーションスキル	
(4) リーダーシップ	
○3日目 [日程調整中]	《集合研修》
(5) 労働法令・労務管理	

工. 管理・監督者研修

[定員30名]

○1日目 [日程調整中]	《集合研修》
(1) 人材育成手法 ・ティーチング、コーチング ・OJT実践方法	
○2日目 [日程調整中]	《集合研修》
(2) サービスの質の管理・苦情対応	

工. 管理・監督者研修

○1日目 [日程調整中]	《集合研修》
(1) 人材育成手法 ・ティーチング、コーチング ・OJT実践方法	
○2日目 [日程調整中]	《集合研修》
(2) 経営リスクマネジメント	

才. 経営者研修

[定員80名]

[日程調整中]	《集合研修》
(1) 2040年を見据えた経営戦略Ⅲ	

(2) 専門研修

ア. 看護職員研修

[定員30名]

[日程調整中]	《集合研修》
(1)	伝達研修 「2021年度介護施設等における看護指導者養成研修」の伝達
(2)	フィジカルアセスメント

イ. 生活相談員研修

[定員30名]

研修Ⅰ（経験3年未満）	[日程調整中]	《集合研修》
(1)	生活相談員業務の基本的理解と責務	
研修Ⅱ（経験3年以上）	[日程調整中]	《集合研修》
(1)	対人援助におけるコミュニケーション技術	
(2)	他職種連携	
(3)	権利擁護	
(4)	「地域における公益的取組」における生活相談員の役割	

ウ. 「看取りケア」研修

[定員30名]

[日程調整中]	《集合研修》
(1)	入所から終末期までにたどる経過とそれに応じた介護の考え方 (参考：全国老施協「看取り介護指針」)
(2)	アドバンス・ケア・プランニング
(3)	家族支援（家族が果たすことができる役割の支援、グリーフケア）
(4)	多職種と連携したケアの仕組みづくり

エ. 「口腔ケア」研修

[定員30名]

[日程調整中]	《集合研修》
(1)	口腔・栄養スクリーニング
(2)	実践的口腔ケア
(3)	口腔リハビリ

オ. 高齢者虐待防止・身体拘束禁止研修

[定員40名]

8月 4日（木）	《Web研修》
(1)	尊厳ある介護と高齢者虐待・不適切なケア・身体拘束を生まない職場づくり

カ. 感染症及び食中毒の予防及びまん延の防止に関する研修

[定員40名]

[日程調整中]	《集合研修》
(1)	感染症の基礎知識と高齢者福祉施設における感染対策について
(2)	食中毒発生防止及び発生した場合の対応について

2. 実践研究の推進

- | |
|--|
| (1) 科学的介護の実践・研究 |
| ア. エビデンスに基づく介護（理論と知識の習得 → 根拠に基づいたアセスメント → 多職種協働によるケアマネジメント → 数値化によるモニタリング → 成果の可視化効果測定 → エビデンスの蓄積のサイクルに則った取組み）の実践に努める。 |
| イ. 自己研鑽、OJT、研修の受講、サービスの質向上に向けた実践研究の取組み等により、専門性の向上に努める。 |
| (2) 令和4年度「実践研究発表会」の開催 |

IV 地区活動の推進

1. 地区活動の推進

(1) 名取・岩沼地区	総会、研修会
(2) 白石・角田地区	総会、介護・福祉フェスティバル、職員交流事業、災害対応訓練
(3) 塩釜・多賀城・黒川地区	総会、幹事会、黒川・石巻地区合同災害対応訓練、研修会
(4) 加美・大崎地区	総会、大崎市地域包括ケアシステム推進室地域推進事業へ参画、災害時相互支援訓練、研修会、施設交流会 他
(5) 栗原地区	リーダー職員交流会、災害時訓練、定期総会
(6) 登米地区	総会、研修会、登米地区合同災害対応訓練
(7) 石巻・東松島地区	総会、石巻・黒川地区合同災害対応訓練、介護・福祉フェスティバル 他
(8) 気仙沼地区	総会、事務職員研修会、LIFE 研修会、管理者会議

2. 地区連絡協議会活動助成金事業

- | |
|--|
| ・地区活動を助成するため、各地区に活動助成金 5 万円を交付する。 |
| ・「介護・福祉フェスティバル」実施地区に対しては、10 万円(上限)を交付する。 |

V 災害時相互支援体制の推進

1. 災害対応力の向上

(1) 地区災害対応訓練の充実
(2) 災害対応力向上研修の実施
ア. 福祉避難所開設・運営研修
イ. 災害派遣介護チーム員養成研修
(3) 災害対策委員会活動
ア. 災害時相互支援体制の運用
イ. 災害対応力向上研修の企画・実施
ウ. 全国老施協ほか関係団体との連携

2. 感染症発生時における応援職員派遣

- | |
|---|
| (1) 宮城県から「令和4年度感染症発生時における派遣候補者名簿作成等業務」を受託 |
| ・感染症発生時における派遣候補者名簿の取りまとめ、派遣職員の調整を行う。 |

3. 「宮城県災害福祉広域支援ネットワーク協議会」への参加

- | |
|----------------------------------|
| (1) 「宮城県災害福祉広域支援ネットワーク協議会」活動への参加 |
|----------------------------------|

4. 東北ブロック老人福祉施設協議会との連携

- (1) 東北ブロック老施協との広域連携

- ・東北ブロック災害時広域連携に係る調査・研究、訓練等への参加

5. 全国老人福祉施設協議会との連携

- (1) 災害派遣福祉チーム（D-WAT）活動への協力

VI 令和4年度東北ブロックカントリーミーティング開催

- (1) 全国老施協主催「令和4年度東北ブロックカントリーミーティング」開催

- 担当県として、21世紀委員会委員の皆さんの協力をいただき、開催する。

【各種委員会事業】

1. 総務企画委員会

- (1) 本会の適正な運営と事業の促進を図るために隨時開催する。

2. 制度政策委員会（再掲）

- (1) 部会活動の充実
- (2) 宮城県介護人材確保協議会等との連携
- (3) 「地域共生社会」の実現に向けた取組
- (4) 東北ブロック老施協施設種別委員会への参加

3. 広報委員会（再掲）

- (1) 人材の確保・育成・定着の取組
- (2) 宮城県介護人材確保協議会等との連携

4. 研修委員会（再掲）

- (1) 人材の確保・育成・定着の取組
- (2) 宮城県介護人材確保協議会等との連携
- (3) 職員研修の充実強化
- (4) 実践研究の推進
- (5) 令和4年度「実践研究発表会」開催

5. 災害対策委員会（再掲）

- (1) 災害時相互支援体制の運用
- (2) 災害対応力向上研修の企画・実施
- (3) 全国老施協ほか関係団体との連携

6. 21世紀委員会（再掲）

- (1) 職員交流・研修事業の推進
- (2) 宮城県介護人材確保協議会等との連携
- (3) 令和4年度東北ブロックカントリーミーティングの運営
- (4) 全国老施協21世紀委員会との連携

【諸会議の開催】

1. 通常総会

- 〔日時〕 「書面表決（令和4年5月17日（火）必着）」により行う。
- 〔内容〕 議案第1号 令和3年度事業報告（案）について
議案第2号 令和3年度収支決算報告（案）について
- 【監査報告】
- 議案第3号 令和4年度事業計画（案）について
議案第4号 令和4年度収支予算（案）について
議案第5号 「宮城県老施協災害時相互支援協定書」協定期間の延長について
議案第6号 役員の選任について

2. 理事会（役員会）

- （1）本会の適正な運営と事業の促進を図るため、隨時開催する。

3. 監事會

- 〔日時〕 令和4年4月14日（木） 13：30
- 〔会場〕 宮城県老人福祉施設協議会事務局
- 〔内容〕 （1）令和3年度事業の実施状況について
（2）令和3年度収支予算の執行状況について

【関係機関・団体との連携】

1. 宮城県保健福祉部長寿社会政策課との意見交換会
2. 全国老施協、東北ブロック老施協、仙台市老施協との連携・協力
3. 宮城県、宮城県社会福祉協議会等の関係機関・団体の事業への協力（委員就任等）
4. 宮城県介護人材確保協議会との連携・協働
5. 宮城県介護福祉士会との連携

